

## mui Lab × BEAMS 「ビームス ジャパン」ファサードの提灯をIoT化



撮影：森澤誠

株式会社ビームス（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：設楽洋）は、京都に拠点を置くmui Lab株式会社（NISSHAグループ、以下mui Lab）が開発したIoTユーザーインターフェース「mui」の世界初の店舗実装および搭載を「ビームス ジャパン」にて開始しました。

タッチセンサーとワイヤレスセンサーを内蔵した木製のデバイスであるmuiは、入力用のスイッチやディスプレイとしての使い方に加え、インターネットに接続することで多様なクラウドベースのサービスと連携し、得た情報をリアルタイムでディスプレイに掲示することが可能です。2017年12月より「ビームス ジャパン」では、ファサードに飾られた63個の提灯をインターネットに接続し、これをIoTの力でメッセージや情報を映し出すコミュニケーションディスプレイに置き換え、muiを通して色とりどりの灯りによるイルミネーションサインージュを展開しています。

mui Labのフラッグシップモデルとして誕生した「mui」の最大の特徴は、最先端の技術と木のぬくもりを融合させた点です。インターネットにつながる木製タッチパネルディスプレイはインテリアを損なわない洗練されたデザインで、操作は指で軽くパネルに触れるだけといたってシンプルです。「ビームス ジャパン」1Fでは店頭にmuiを設置、これに実際に触れていただくことで豊かなIoT体験を得ることができます。

**実施店舗** BEAMS JAPAN 1F  
住所：東京都新宿区新宿3-32-6 TEL：03-5368-7300  
営業時間：11時～20時

◆ 「mui」公式ウェブサイト <http://mui.jp>

【本件に関する報道関係の方からのお問い合わせ先】  
株式会社ビームス 社長室宣伝広報統括本部 担当：山村  
Email:yamamura@beams.co.jp Tel：03-3470-7968